

2026年3月期 第3四半期  
**決算説明資料**



Zenhoren

全保連株式会社

A member of  MUFG

2026年2月

東証スタンダード

5845

# 業績概要

# 2026年3月期 第3四半期 業績ハイライト

## 主要ポイント

- ・ 上場以来増収基調を維持、2026年3月期3Qも売上・経常利益は計画を上回り、過去最高を更新。
- ・ 堅実な経営と大胆な資本政策で、時価総額は2023年10月の上場時から2.2倍に拡大。

## 【損益計算書】

(単位：百万円)

## 【主な指標等】

(単位：百万円)

	25/3期3Q	26/3期3Q	増減		25/3期3Q	26/3期3Q	増減
売上高	19,182	<b>19,591</b>	<b>409</b>	株価 (円)	710	1,004	294
売上原価	6,448	<b>5,853</b>	<b>▲595</b>	時価総額	19,168	26,752	7,584
売上総利益	12,733	13,737	1,004	PBR	2.8	3.5	0.7
販売費及び一般管理費	10,727	11,219	492	年間1株配当予想 (円)	35.0	40.0	5.0
営業利益	2,006	<b>2,517</b>	<b>511</b>	2025. 4 : (株)三菱UFJフィナンシャル・グループの連結子会社化			
経常利益	1,991	<b>2,514</b>	<b>523</b>	2025. 5 : 長期経営計画公表、5年後の時価総額目標600億円			
特別損失	0	<b>645</b>	645	2025. 5 : 株主還元方針を変更し、累進配当を導入			
税引前四半期純利益	1,991	1,869	<b>▲122</b>	2025.12 : 監査等委員会設置会社への移行決定、ガバナンス強化			
四半期純利益	1,371	1,279	<b>▲92</b>	2026. 2 : 「三菱UFJカードプラン」提供開始 (家賃カード決済)			

## 【ポイント】

- ① 売上・経常利益は計画達成、過去最高。特損は会長退職金等。
- ② 審査高度化・回収強化で信用コスト低減。

## 【ポイント】

- ③ 堅調な業績等を背景に株価上昇、時価総額は上場時の2.2倍。
- ④ 三菱UFJフィナンシャル・グループとのシナジー効果実現へ。

# 2026年3月期 第3四半期 業績ハイライト

## 主要ポイント

- ・潤沢な現預金と純資産を擁し、実質無借金で金利上昇局面にも耐え得る強固なバランスシート。
- ・審査高度化・回収強化で不良債権予備軍の圧縮を実現。加えて十分な引当金計上で盤石な財務内容。

## 【貸借対照表】

(単位：百万円)

	25/3期3Q	26/3期3Q	増減		25/3期3Q	26/3期3Q	増減
現金及び預金	7,159	<b>8,816</b>	<b>1,657</b>	借入金	931	<b>0</b>	<b>▲931</b>
求償債権・家賃立替金	9,822	<b>8,842</b>	<b>▲980</b>	保証履行損失引当金	696	658	<b>▲38</b>
その他流動資産	5,306	4,931	<b>▲375</b>	前受金	10,187	10,089	<b>▲98</b>
貸倒引当金	-6,992	-6,238	754	その他流動負債	2,826	3,489	663
流動資産合計	15,295	16,351	1,056	流動負債合計	14,640	14,236	<b>▲404</b>
繰延税金資産	3,754	3,701	<b>▲53</b>	固定負債	105	77	<b>▲28</b>
その他固定資産	2,603	1,905	<b>▲698</b>	負債合計	14,746	14,314	<b>▲432</b>
固定資産合計	6,357	5,606	<b>▲751</b>	純資産	6,906	<b>7,644</b>	<b>738</b>
資産合計	21,653	21,958	305	負債純資産合計	21,653	21,958	305

## 【ポイント】

- ① 現預金が大幅増加、積極的なM&A推進の原資へ。
- ② 求償債権・家賃立替金（不良債権予備軍）が減少。

## 【ポイント】

- ③ 借入金減少、金利上昇への耐性強化。
- ④ 純資産増加（自己資本比率31.9%→34.8%）。

# 2026年3月期 第3四半期 業績概要

## 主要 ポイント

- ・業績は堅調に推移、売上高・営業利益・経常利益は過去最高を更新。
- ・2026年2月には「三菱UFJカードプラン」をリリース、更なる躍進を見込む。

(単位：百万円)	26/3期_3Q累計			前期比・計画比差異コメント	(前回公表数値) 26/3期 計画	(修正後) 26/3期 計画
	実績	前年同期比 増減率	前年実績			
売上高	19,591	2.1%	19,182	・ストック収入（年保・月保）の増加に伴う売上増	26,003	26,100
売上原価 及び販管費	17,073	▲6.0%	17,176	・貸倒引当金等の信用コストを大幅に圧縮 ・経費削減により固定費も大幅に減少 ・社員の処遇改善に努めた結果、人件費は増加	23,336	23,100
営業利益	2,517	25.5%	2,006	・営業利益、経常利益は過去最高を更新	2,667	3,000
経常利益	2,514	26.2%	1,991		2,662	3,000
四半期純利益	1,279	▲6.7%	1,371	・会長の退職慰労金支給に伴う一過性の損失として、特別損失を計上	1,829	1,640

# 主要な計数（成長性）

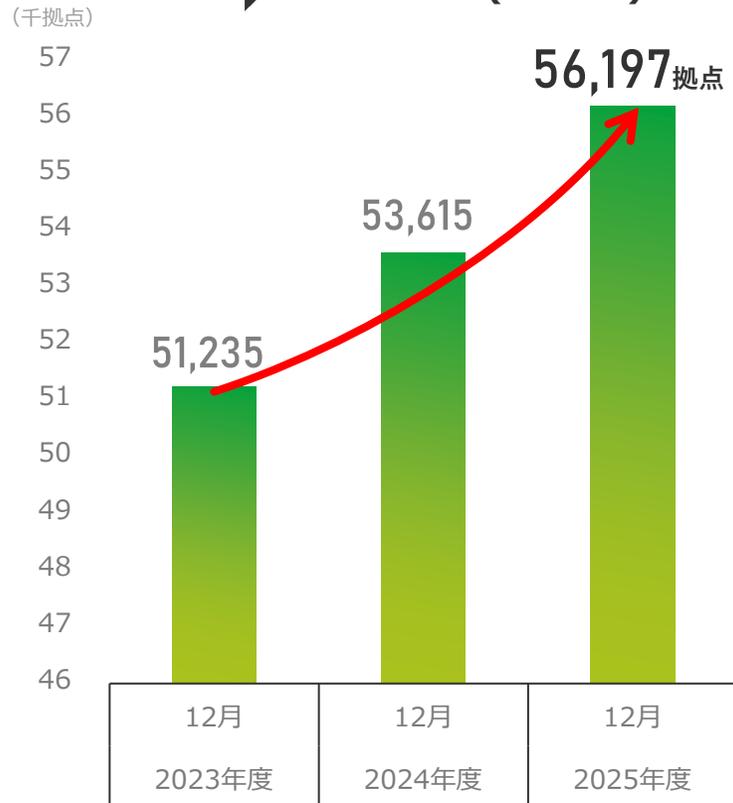
## ポイント

・ 契約件数は着実に増加し、営業基盤は更に盤石に。

### 協定会社拠点数

2024年12月末からの増加数

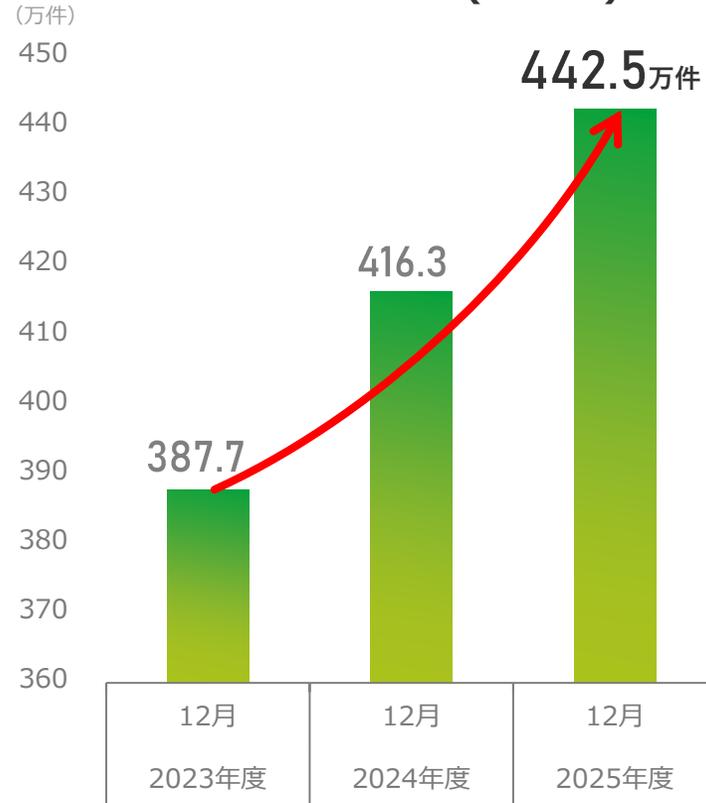
**+2,582** 拠点 (+4.8%)



### 累計家賃債務保証契約件数

2024年12月末からの増加数

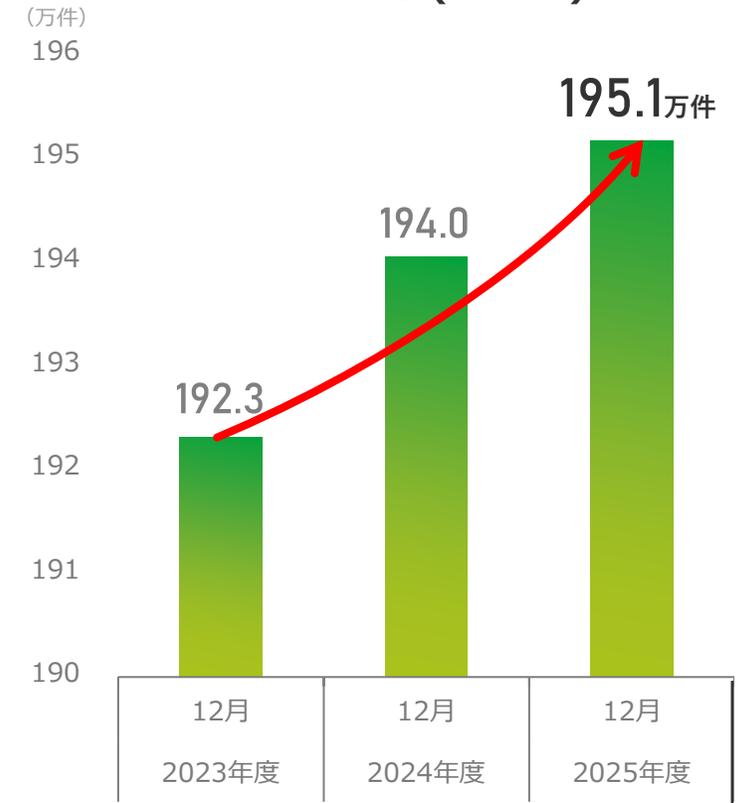
**+26.2** 万件 (+6.3%)



### 保有契約件数

2024年12月末からの増加数

**+1.1** 万件 (+0.6%)



# 主要な計数（安全性/収益性）

## ポイント

- ・ 業界全体で求償債権（不良債権予備軍）が増加する中、当社は唯一削減を実現、絶対水準でもNo.1。
- ・ 一方で、業界No1の十分な引当も計上、実質的な収益力もNo.1の水準。

売上高対比求償債権比率

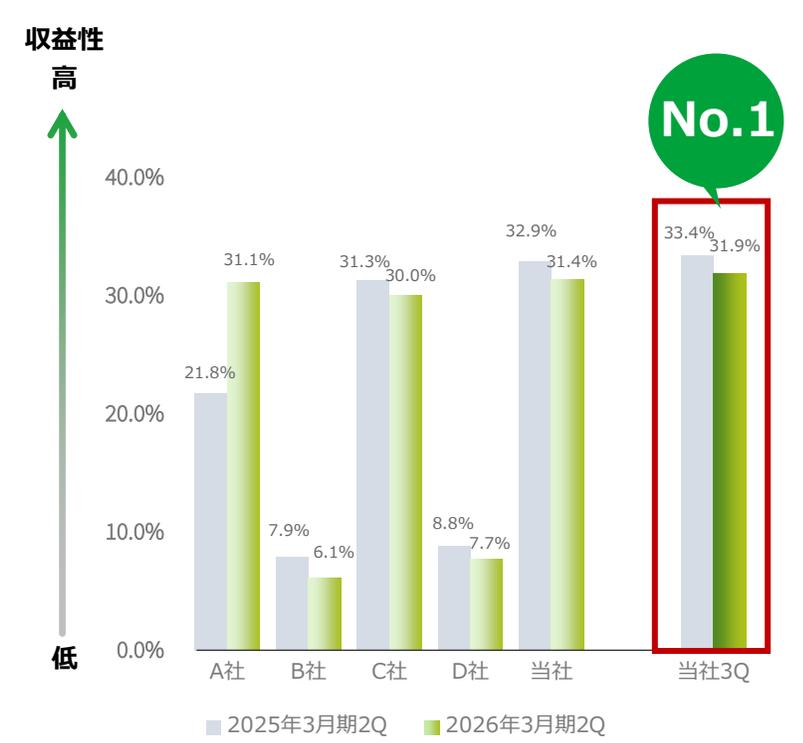
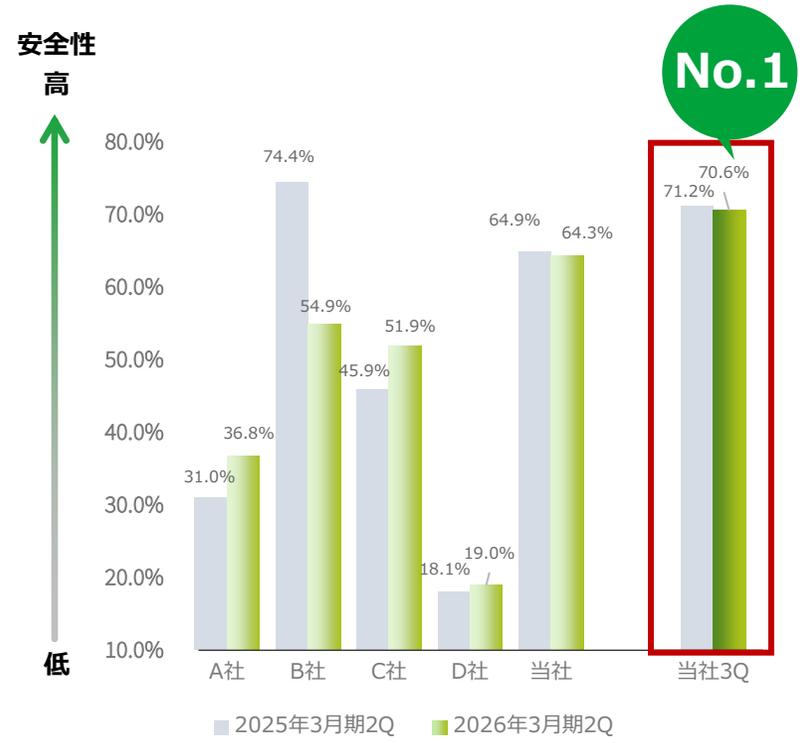
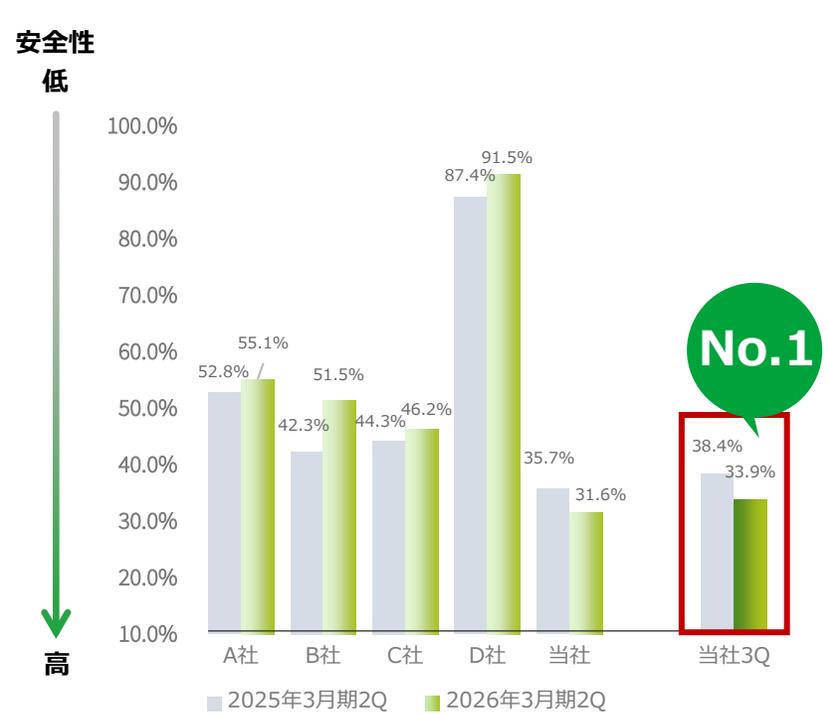
33.9%

求償債権対比貸倒引当率

70.6%

(調整後) EBITDAマージン<sup>注1</sup>

31.9%



注1: (調整後) EBITDAマージン = (営業利益 + 減価償却費 + 貸倒引当金繰入 + 債権処分損) / 売上高

## 主要な計数（安全性）

### ポイント

- ・ 審査精度を表す「早期入金控除後30日期間代位弁済率」<sup>注1</sup>、回収力を表す「代位弁済回収率」はともに改善、良好な数値を堅持。

### 早期入金控除後30日期間代位弁済率<sup>注1</sup>

**0.45%**  
 (前年同期比▲0.01pt)

### 代位弁済回収率

**96.50%**  
 (前年同期比+0.18pt)

審査の高度化を実現することで、早期入金控除後30日期間代位弁済率<sup>注1</sup>は減少し、代位弁済回収率は上昇

# 主要な計数（電子化）

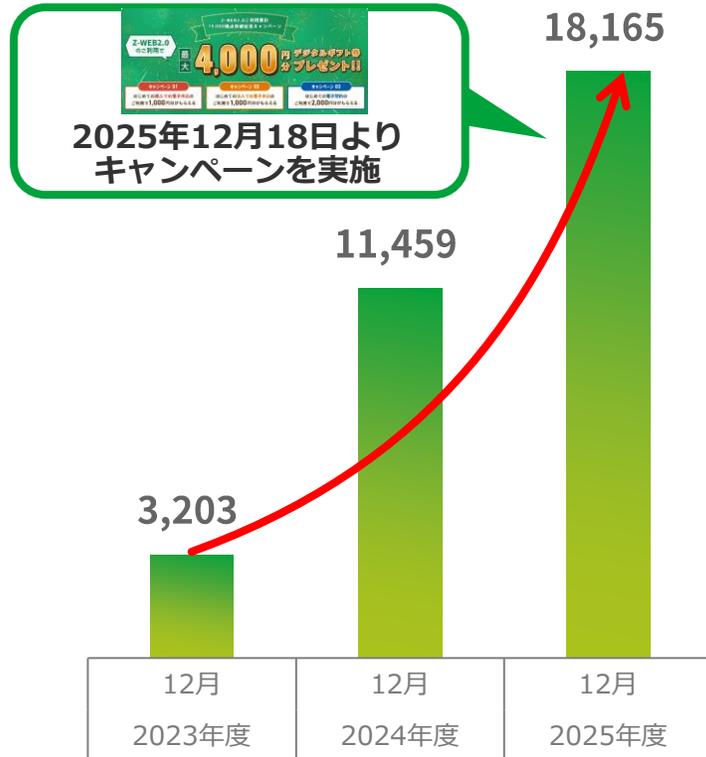
## ポイント

- ・ Z-WEB2.0の導入拠点数は、1.8万拠点を超過、記念キャンペーンを実施中。
- ・ 電子申込率、電子契約率ともに順調に増加、業界の電子化・業務効率化を牽引。

### Z-WEB2.0 導入拠点数

2024年12月末からの増加数

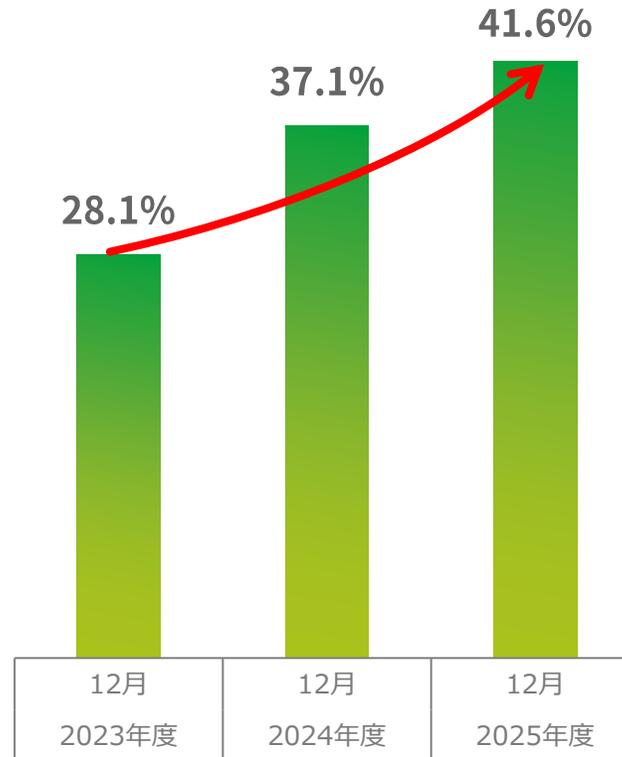
+ 6,706 拠点



### 電子申込率

2024年12月末からの増加幅

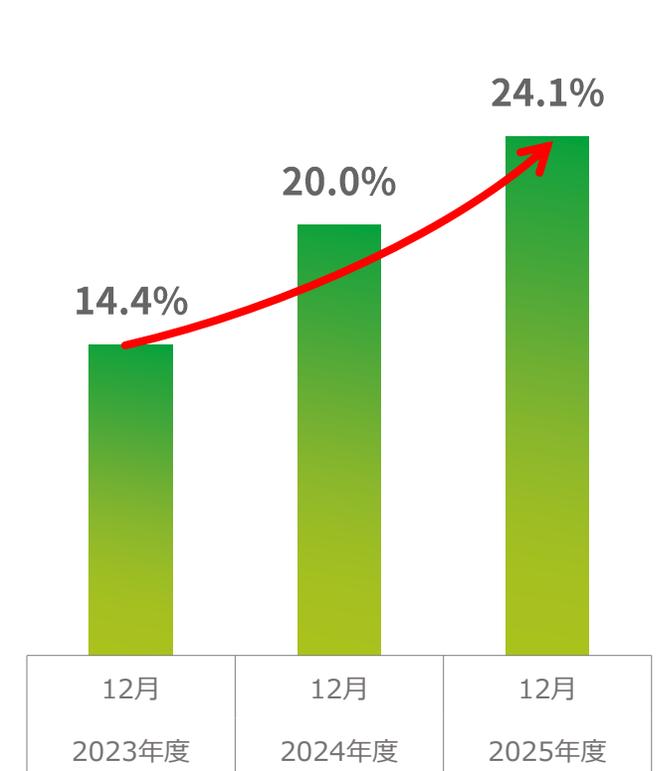
+ 4.5pt



### 電子契約率

2024年12月末からの増加幅

+ 4.1pt



# 主力商品リリース ～三菱UFJカードプラン～

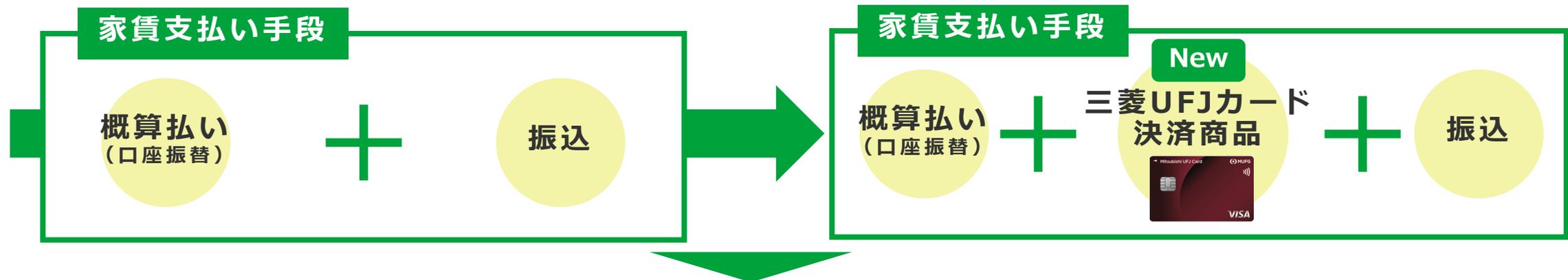
# MUFGグループとのシナジーの具体化！待望の家賃クレカ払い商品リリース

—「三菱UFJカードプラン」提供開始—



初の共同開発商品

2026年2月5日



賃借人様の多様化する支払いニーズへの対応が可能に！

## 三菱UFJカード商品を利用時のお客様の利点



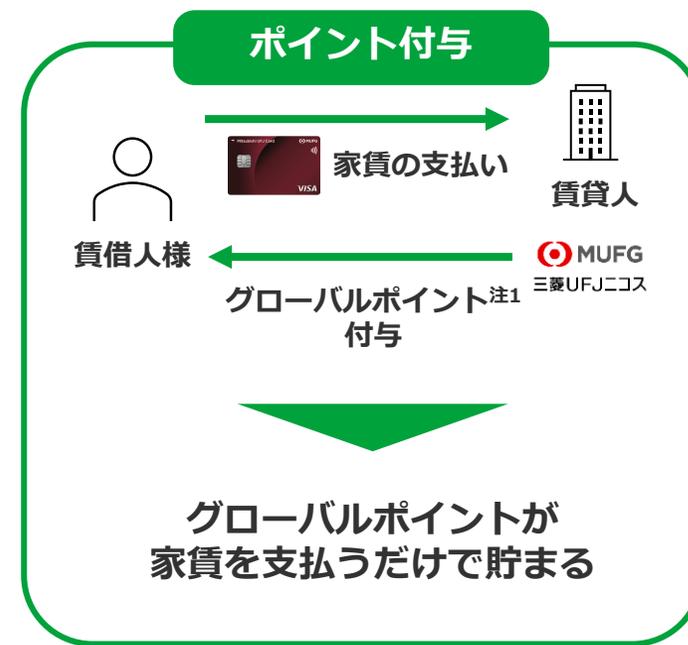
### 利用しやすい料率



### 一気通貫の手続き



### ポイント付与



## 当社家賃債務保証サービスの付加価値向上

注1：三菱UFJカードにて支払いした際に付与されるポイント。

## 三菱UFJカード決済商品導入による今後の展開

### 不動産会社様のニーズ

- ・クレカ決済のある保証会社を希望
- ・事務手続きを簡素化したい
- ・収益性を高めたい



三菱UFJカード商品を導入することで、  
不動産会社様のニーズを解決！



### アプローチ先の増加



不動産会社

#### 家賃債務保証

カード決済機能の追加

決済手段がネックだった先に、  
ソリューションを提供

#### 不動産管理

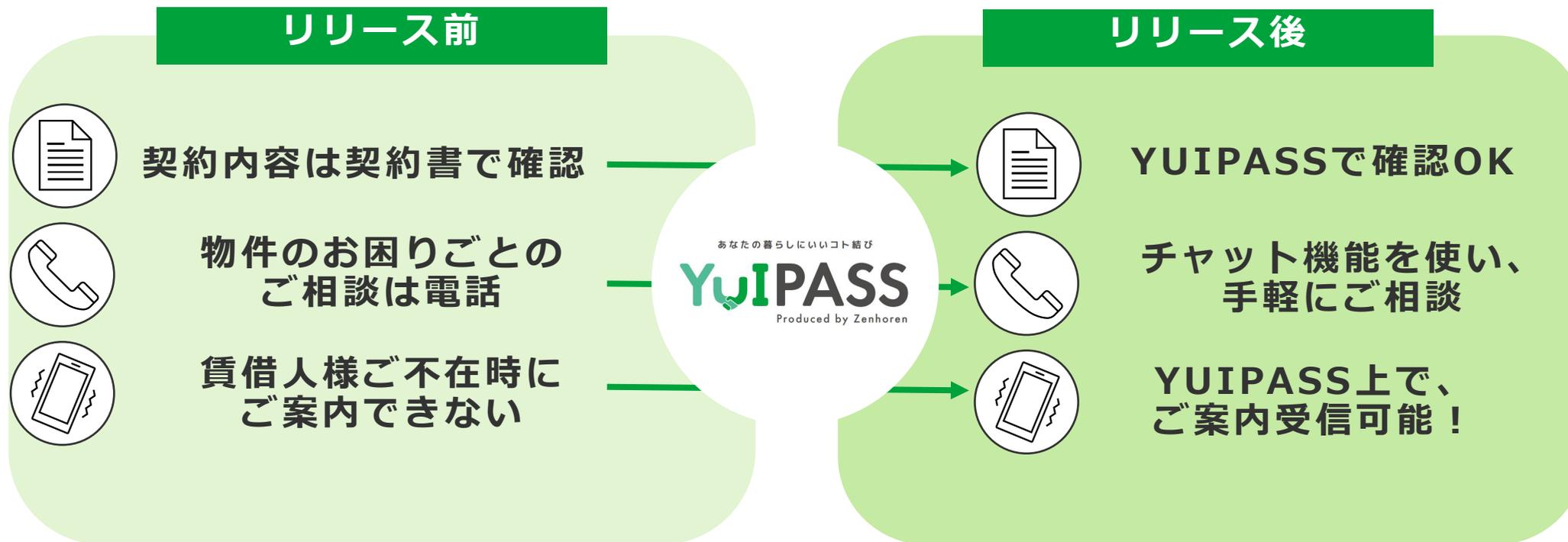
家賃決済手段の多様化

賃借人様の支払いニーズに対応

三菱UFJカードプランを武器にした販路拡大  
MUFGグループ全体の企業価値向上

# 賃借人向けポータルサイト ～YUIPASS～

# 賃借人様向けポータルサイト「YUIPASS<sup>注1</sup>」による顧客接点拡大



「賃借人様」「不動産会社様」「当社」とをつなぐコミュニケーションツールを提供！

注1：契約内容やお支払い情報の確認、住まいに関するご相談など、幅広いサービスをワンストップで体験頂くことのできるサービス。

ゆいパス  
**賃借人様向けポータルサイト「YUIPASS<sup>注1</sup>」による顧客接点拡大**  
 — 「YUIPASS」を起点とした不動産経済圏を構築 —



充実したサービス機能の提供により賃借人様からも選ばれる保証会社へ！

注1：契約内容やお支払い情報の確認、住まいに関するご相談など、幅広いサービスをワンストップで体験頂くことのできるサービス。

# トピックス

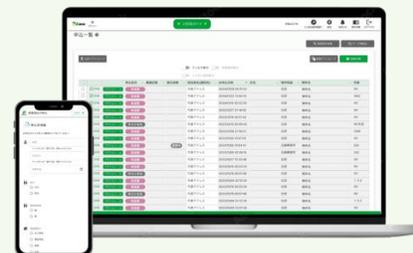
# Z-WEB2.0機能拡充

—不動産業界のDX化を推進—



2025年1月

- ・システムにナビゲーションを付帯
- ・初めて利用する方でも問題なく操作が可能



2025年5月/9月

- ・電子契約機能を付帯
- ・法人の電子申込機能付帯



2025年12月

- ・eKYCの一部機能を導入することで、本人確認機能を強化

今後もお客様の声にお応えし、Z-WEB2.0のシステム改善を通じてより良いサービスを提供してまいります。

## 監査等委員会設置会社移行<sup>注1</sup>を機関決定

—ガバナンス強化と企業価値向上を目的に機関設計を刷新—

2026年6月24日開催予定の定時株主総会決議により  
監査等委員会設置会社へ移行

現行

監査役会設置会社

移行

新体制

(2026年6月以降)

監査等委員会設置会社

### 移行の目的

- ・ 経営陣が持てるリーダーシップを最大限に発揮できると同時に、経営陣に対するモニタリングが有効に機能するコーポレート・ガバナンス体制の構築
- ・ 当社の特性を活かしつつ、取締役会の監査・監督機能の更なる高度化を図ることで当社にとって最善のコーポレート・ガバナンス体制を実現

企業価値の持続的向上に寄与

注1:2026年6月24日開催予定の第25回定時株主総会における承認を条件としております。

## 地域貢献活動のご紹介

### 東京本社（新宿区）での清掃活動への参加

### 琉球ゴールデンキングスの試合にて黒糖配布



令和7年度新宿年末クリーン大作戦



今後も地域に愛される企業となるべく活動を続けてまいります。

本資料は、全保連株式会社の業績見通しが記載されております。

業績見通しの記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、実際の業績は様々な要素により業績見通しとは異なる可能性があります。

## IRに関するお問い合わせ



全保連株式会社

経営企画部

E - mail [ir-info@zenhoren.co.jp](mailto:ir-info@zenhoren.co.jp)

電話番号 050-3124-6500